

## 前回審議会資料との変更点

頁	変更前	変更後
2		第1章 まちづくりの長期的視点 1 まちづくりの長期目標 <b>変更</b> いのちへの共感に満ちたまちづくり条例を詳しく記述 2 克服すべき重要課題と適応すべき社会潮流 <b>変更</b> 詳細な表記、機会と課題の両面表記
4	第1章 基本構想の位置づけ 1 まちづくりの長期目標 2 社会の変化 3 基本構想の位置づけ	第2章 基本構想の位置づけ <b>変更</b> 前章を踏まえ、戦略的なまちづくりの必要性を説明
5	第2章 めざすまちの将来像	第3章 めざすまちの将来像—基本構想の戦略目的— <b>変更</b> 将来像が有効な選択肢であること <b>追加</b> 戦略体系図
7	第3章 まちづくりの基本姿勢	第4章 まちの将来像実現に向けた基本姿勢 <b>変更</b> 表記の整理
8	第4章 小さな世界都市の実現に向けた重点的な取組み <u>(1) 自然との共生を徹底する</u> ア 大規模災害に備える イ コウノトリも棲める豊かな環境をつくる <u>(2) 受け継いできたものを守り育て引き継ぐ</u>  <u>(3) 芸術文化を創造する</u>  <u>(4) 内発型地域経済の活性化</u> ア 環境と経済の共鳴 イ 地域内の経済循環を高める ウ 地場のものを高付加価値化する  <u>(5) 多様性を受け入れる社会をつくる</u>	第5章 小さな世界都市の実現に向けた主要手段 <b>変更</b> 「されている」状態表記、表記の整理 <u>(1) 自然との共生が徹底されている</u> ア 災害に備え、地域の防災力が高まっている イ 自然と折り合う暮らしがまちに根付いている ウ 環境と経済の共鳴が広がっている <u>(2) 地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、受け継がれている</u> ア 伝統的な町並みなどが大切にされ、蓄積されている イ 地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている <u>(3) 優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんでいる</u> ア 優れた文化芸術に身近に触れられる環境が整っている イ 文化芸術による交流が盛んになっている <u>(4) 多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている</u> ア 多様性がまちの活力の源泉になっている イ さまざまなつながりの中に、それぞれの役割が用意されている <u>(5) 内発型の地域産業がすくすくと育っている</u> ア 地域産業が切磋琢磨し、新たな道を切り拓いている イ 豊岡ブランドが構築されている

	(6) <u>挑戦する人材を育てる</u>	(6) <u>子どもたちが豊岡で世界と出会い、地域への愛着を育んでいる</u> ア 子どもたちが豊岡で世界と出会う機会が まちに満ちている イ 子どもたちがさまざまなコミュニティの 一員として役割を果たしている
14	第5章 まちづくりの進め方	第6章 まちづくりの進め方 <b>視点</b> ともにまちを創る、 目標を実現するために協働する <b>追加</b> 地域コミュニティ
15	第6章 市民の暮らしを支える政策	第7章 市民の暮らしを支える施策の体系 <b>追加</b> タイトルに加え、取組内容を表記 まちづくりの全ての施策を位置づけている